

様式（第6条関係）

会 議 録

会議の名称	第19期第4回企画実行委員の会議
事務局	公民館東分館
開催日時	平成18年12月5日（火）午前10時～正午
開催場所	公民館東分館集会室A・B
出席者	【企画実行委員】池口年子 伊藤巖 今村久壽夫 児玉栄子 椎野稔 吉田和子 【職員】長堀雅春 小林明夫 笠井恭子
傍聴の可否	可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	1 第28期第13回公民館運営審議会の報告について（11/24開催分） 2 主催事業の計画・報告及び担当について 3 第20回東センターまつりについて 4 来年度主催事業について 5 第44回東京都公民館研究大会の感想について 6 その他
会議結果	
発言内容・ 発言者名 （主な発言 要旨等）	1 第28期第13回公民館運営審議会の報告について（11/24開催分） 〔長堀〕東京都公民館研究大会直前のため、主にその内容に関して質疑が行われた。各館事業の計画・報告として東分館から成人学校「暮らしに役立つハーブ」（計画）、情報活用能力育成講座「パソコン入門」（計画）を提出。特に質疑なし。小金井市公民館の基本計画づくりについて継続審議を行い、まとめ作成の日程等を確認した。 2 主催事業の計画・報告及び担当について ○ 子ども体験講座「ときめき科学実験」 〔小林〕11/25に第2回を実施。18人参加。「ものの重さ比べ」をテーマに、ペットボトルに水を入れ、比重の異なる色水と温度の異なる色水を混ぜて色別に分かれる様子を観察。参加した子どもは皆熱中していた。次回12/9は「電池をつくろう」の予定。 ○ 国際交流イベント「中国四千年・水墨画と茶道の世界」 〔小林〕11/30第1回を実施。出席28人。講師が開始時刻に来館し、レジュメを外部媒体で持参したためすぐに印刷できず、資料なしで実施した。事後、パソコン処理により印刷、資料配布。（2日前に資料と時間の確

認済み)「茶道で心を癒し健康になる」がテーマだったが、お茶の効用とか日本の茶道に時間を費やして「中国四千年…」として中国のお茶の話を知りたいと期待して参加した人の意見を講義終了後、講師に伝えた。

[伊藤]「中国四千年」のタイトルを見て申し込んだ人は当然その内容を期待している。日本の茶道の話ばかりで期待外れだった。資料を事前に点検して内容に問題があれば講師に指摘する等必要だった。資料は受付時に配布する必要がある。

[椎野] 中国茶の香り、飲み方等の話を期待していたが、日本の茶道の話もあり、期待はずれで、2回目から来なくなるのが心配。水墨画が専門の講師なら、水墨画の講義を第1回目にして、お茶は後にしてもよかったのではないか。

[池口] 資料は事前に用意しておくべき。時間の確認なども事前に徹底を。

[椎野] 6時30分開始だったが、講座の時間設定については今後よく検討したい。

○ 国際交流イベント「ガイドブックの余りない国・バングラデシュ」

[小林] 1/15号で募集。定員30人。2/3から2/24まで全4回、いずれも土曜日、午前10時から正午。講師は東京農工大学留学生でダッカ大学卒業生。すでに資料も届いている。(担当→ 今村久壽夫 児玉栄子)

○ 男女共同参画講座「文章力でスキルアップ」

[長堀] 全2回を終了。参加者25人。出席率78%はややもの足りない。大きいテーマをたった2回では十分掘り下げることが出来なかった。回数については今後の検討課題としたい。文章について改めて考えるきっかけにはなったのではないか。30代から40代が多かったことに注目。この年代の求めるテーマに応える面はあったと思う。

[吉田] 書く方の実践的な指導が少しでもあった方がよい。一方的に話を聞くだけではもの足りなかった。

○ 高齢者学級「いきいきと仲間づくり」

[長堀] 次年度は2クラスに分け、火曜日と木曜日に実施。月2～3回とし実施期間を長くする。クラスの分け方は「初めて又は経験の浅い方」と「比較的経験の長い方」とし、希望を優先する。それぞれのクラスに名称を付ける。(準備会で名前を募集する)

[伊藤] 準備会で講座内容や野外研修の行き先などを募集する際、参考になる資料があった方がよい。自分の希望だけでは範囲が限られてしまうので、より広い情報の中から選択できるようにしてほしい。

[池口] ただ参加するだけでは仲間づくりとは言えない。プログラムは人が

集まる呼び水であり、経験を積むことにより地域のテーマを自主的に深めるような取り組みも必要ではないか。第44回東京都公民館研究大会の課題別集会での事例報告によると、田無では自分たちの活動をまとめた『通信』づくり、福生では戦争体験を語り合い本にまとめて出版するなど取り組んでいる。このような高齢者が地域に位置づけられるような取り組みが必要。内輪の集まりだけで終わってしまうのは勿体ない。

[笠井] 自分たちの集まりや活動が地域へ向かっていくという視点が大切。

[椎野] 高齢者が地元の小中学校へ出向いて話をするというような企画もよいのではないか。

[長堀] 経験者クラスの方は全20回のうち2回程度でも自主企画的な内容にして自分たちでテーマや内容を考えるように提案してみたい。

○ 市民講座「エンディングへの生前準備」

[長堀] 12/15号で募集。1/15から2/19まで全5回。

○ 成人大学「江戸時代の旅と食」

[小林] 11/22第1回を実施。出席44人。内容は旅の心構え、旅行用心集について。大変好評だった。次回は12/6。

[吉田] とても面白かった。内容的に興味深い上に、講師の話も分かりやすい。次回以降が楽しみ。参加者の皆さんは集まるのが早いその分早く準備をする必要がある。

○ 成人学校「男子厨房から始める新しい生活」

[長堀] 3回が終了。講義2回分の感想文をまとめた。調理実習の希望者には2回の講義はなじめなかったようで欠席が目立った。少人数だったがグループワーク等を取り入れ、自分の生き方や夫婦関係などを見つめ直すきっかけにはなったのではないか。残り2回は調理実習。

[今村] 講義は別の講座にした方がよかったのではないか。面白い内容だっただけに出席者が少なく勿体なかった。

[椎野] 「厨房」で募集したのだから厨房の内容に徹するべきだった。講義をするなら厨房に関するものにするべきだった。一つの講座に講師2人は勿体ない。

[吉田] 参加者は料理を作ることを念頭に参加している。それが目的なので講義には興味なかったとしても無理もない。料理の方の講師はいかにも男性向きで慣れている感じだった。

[椎野] 調理室の機材や調理用具は使う前にきちんと点検してほしい。

○ 成人学校「デジタルカメラ基礎講座」

[小林] 全日程終了。出席率が87.5%と非常に良かった。全回出席者も15人に上った。内容的には初心者にはやや難しく、経験者にはもの足

	<p>りないものがあったが、全体としては満足された人が多かったようだ。 自主グループ結成の動きがあり、12/7に第1回の打合せ予定。</p> <p>○ 成人学校「暮らしに役立つハーブ」 〔笠井〕1/1号で募集。1/24より開始。他館でアロマセラピー等関連の講座が予定されているが、当館は食が主体なので内容的に異なる。</p> <p>3 第20回東センターまつりについて 〔長堀〕第19回の内容、参加団体、反省会での討論、アンケート集計を説明。第20回は実行委員会を1月中旬に呼びかけ、2月中旬に第1回を開催したい。課題として、実行委員長を選出、第20回に相応しい記念の企画、開催日程（2週に分けるか否か）、主催イベントの内容、模擬店への出店依頼など。</p> <p>4 来年度主催事業について 〔長堀〕次年度事業について、5月から7月頃の実施分はそろそろ企画に入らないと難しくなる。取り上げたいテーマや講師等提案してください。</p> <p>5 第44回東京都公民館研究大会について 〔椎野〕全体会は同じような発言ばかりで意味がない。あれだけで全体会というのは疑問。朝早くから集められた甲斐がなかった 〔吉田〕全体会は基調講演のような中身のある企画があればよかった。課題別集会の内容は勉強になった。 〔児玉〕課題別集会でグループ討論など体験し有意義だった。 〔今村〕講師の話聞くだけかと思っていた。グループ討論で自分の意見を言う場面があり少し戸惑った。講師の話は参考になった。 〔池口〕とてもよい研修会でした。</p> <p>6 その他 〔長堀〕次回の日程は、1月16日（火）午後2時から4時となります。</p>
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開催通知（議題入り） ○ 1月の主な予定 ○ 成人学校「デジタルカメラ基礎講座」実施報告 ○ 男女共同参画講座「文章力でスキルアップ」実施報告 ○ 国際交流イベント「バングラデシュ」実施要綱 ○ 情報活用能力育成講座「パソコン入門」実施要綱 ○ 第19回東センターまつり日程表及び参加団体名簿